

令和3年中の災害発生状況（速報）について

[火 災]

火災件数	196 件	(前年比	8 件	減少)
焼損面積	2,715 m ²	(前年比	1,475 m ²	減少)
損害額	162,573 千円	(前年比	150,956 千円	減少)
死者	6 人	(前年比	3 人	減少)

- 火災件数は196件で、前年に比べ8件減少し、5年連続の減少となった。
- 火災による死者は6人で、3人減少した。

(単位：件)

	令和3年	2年	元年	平成30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
火災件数	196	204	215	230	249	256	232	236	245	270

1 月別火災発生状況

(単位：件)

年	月 合計	月別火災件数											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3年	196	16	22	25	12	13	13	11	15	8	21	21	19
2年	204	8	25	26	18	13	16	18	19	14	21	10	16
増減	-8	+8	-3	-1	-6	0	-3	-7	-4	-6	0	+11	+3

2 火災種別ごとの発生状況

(単位：件)

年	合計	建物火災	その他の火災※			
			住宅火災	林野火災	車両火災	その他の火災※
3年	196	147	104	1	18	30
2年	204	154	101	3	17	30
増減	-8	-7	+3	-2	+1	0

※ その他の火災とは、空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積所、軌道敷、電柱類等で発生した火災

3 火災による死者の発生状況

(単位：人)

年	令和 3年	2年	元年	平成 30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
死者数	6	9	41	12	15	15	6	17	18	15
放火自殺者を除く死者数	4	8	41	10	8	14	5	13	14	10
高齢者	3	6	6	8	6	12	4	11	12	7

4 主な原因別火災発生状況

(単位：件)

火災原因	令和3年	令和2年	増減
放火（疑い含む）	29	35	-6
たばこ	26	24	+2
こんろ	18	21	-3
コード	12	13	-1
暖房器具	11	14	-3
天ぷらなべ	10	10	0
たき火	9	13	-4

※ 放火（疑い含む）・こんろ・コード・暖房器具・たき火が減少し、たばこが増加した。

5 行政区別火災発生状況

(単位：件)

	合計	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見
3年	196	17	12	19	14	6	18	12	18	24	15	41
2年	204	20	9	17	15	9	13	11	16	23	17	54
増減	-8	-3	+3	+2	-1	-3	+5	+1	+2	+1	-2	-13

[救 急]

救急出動件数 82,070件 (前年比 3,056件増加)

- 前年に比べ3.9%増加した。
- 1日平均 225件出動し、6分24秒に1回出動したことになる。
- 事故種別では、急病が55,821件で、全件数の68.0%を占めた。

	令和3年	令和2年	令和元年
救急出動件数(件)	82,070	79,014	90,469
救急搬送人員(人)	72,585	70,366	81,016

1 事故種別ごとの救急出動件数 (単位：件)

事故種別	令和3年	令和2年	増減
急病※1	55,821 (68.0%)	53,159 (67.3%)	+2,662
一般負傷	13,578 (16.5%)	13,353 (16.9%)	+225
交通事故	5,629 (6.9%)	5,663 (7.2%)	-34
転院※2	4,178 (5.1%)	3,902 (4.9%)	+276
自損	647 (0.8%)	644 (0.8%)	+3
労災	429 (0.5%)	479 (0.6%)	-50
火災	351 (0.4%)	364 (0.5%)	-13
加害	344 (0.4%)	381 (0.5%)	-37
運動	268 (0.3%)	245 (0.3%)	+23
水難事故	13 (0%)	20 (0%)	-7
医師搬送	8 (0%)	8 (0%)	0
自然災害	8 (0%)	2 (0%)	+6
その他※3	796 (1.0%)	794 (1.0%)	+2
計	82,070	79,014	+3,056

※1 「急病」には、新型コロナウイルス陽性患者の自宅や宿泊療養施設からの救急搬送(1,049件)を含む。

※2 「転院」には、新型コロナウイルス陽性患者の病院間の救急搬送(514件)を含む。

※3 「その他」は、誤報、傷病者がいなかった等、他に分類されない事案

2 年齢区分別の救急搬送人員 (単位：人)

年齢区分	令和3年	令和2年	増減
18歳未満	4,241(5.8%)	3,642(5.2%)	+599
18歳以上65歳未満	23,109(31.8%)	22,346(31.8%)	+763
65歳以上	45,235(62.3%)	44,378(63.1%)	+857
計	72,585	70,366	+2,219

[救 助]

救助活動件数 1, 074件 (前年比 51件増加)

- 事故種別では、建物事故が増加し、それ以外の事故は減少した。
- 建物事故が757件で全件数の70.5%を占めた。

	令和3年	令和2年	令和元年
救助活動件数 (件)	1, 074	1, 023	1, 054

事故種別ごとの救助活動件数

(単位：件)

事故種別	令和3年	令和2年	増減
建物事故※1	757 (70.5%)	691 (67.5%)	+66
山岳事故	83 (7.7%)	96 (9.4%)	-13
交通事故	47 (4.4%)	54 (5.3%)	-7
水難事故	16 (1.5%)	24 (2.3%)	-8
火 災	13 (1.2%)	16 (1.6%)	-3
機械事故	8 (0.7%)	9 (0.9%)	-1
その他事故※2	150 (14.0%)	133 (13.0%)	+17
計	1,074	1,023	+51

※1 建物事故とは、救助用資器材を使用して、建物内から傷病者等を救出した事案

※2 その他事故とは、低所への転落事案や酸素欠乏による事案等、他に分類されない事案

()内の数値は、救急出動件数又は救助活動件数に占める割合で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100パーセントにはならない場合があります。